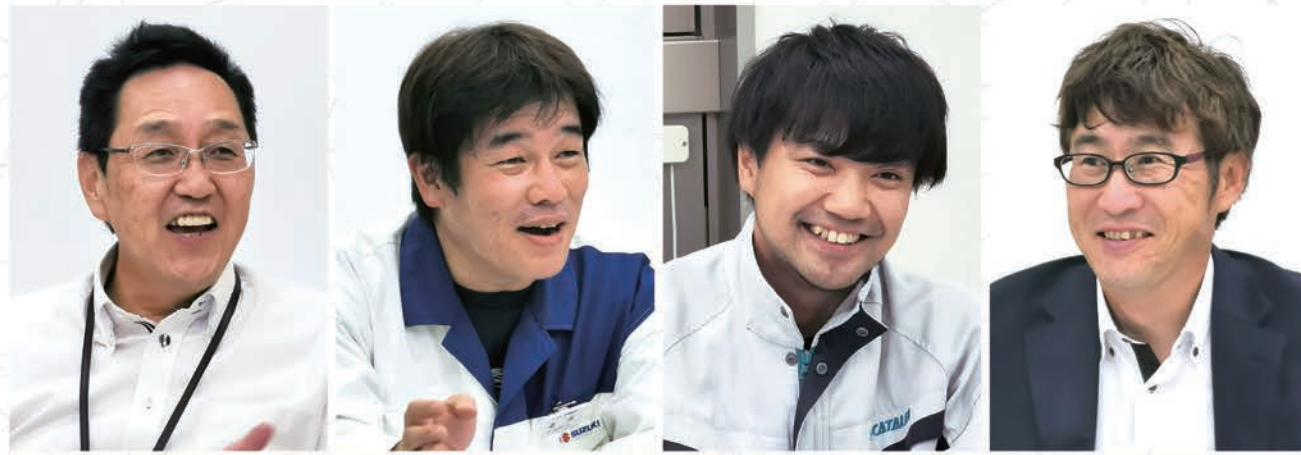


# 今回の 運営委員会 小笠支店

OGASA SHITEN

このコーナーでは、独自の活動を展開する運営委員会の様子を紹介しています。



白方 信保さん  
小笠支店 支店長

運営委員長  
森田 昌樹さん  
スズキ労働組合 大須賀支部  
支部長

副運営委員長  
鈴木 正和さん  
キャタラー労働組合  
書記長

副運営委員長  
清水 孝光さん  
全矢崎労働組合 大浜支部  
支部書記長



※撮影の為マスクを外しています。

## 運営委員会とは…

会員(組合)の代表者と(ろうきん)の営業店職員で構成される組織。(ろうきん)の運営を民主的に行うため、理事会に向けて各会員の率直な意見を発信するとともに、理事会で決定した方針や事業計画を各営業店の立場から、より具体化して地域会員・勤労者に展開しています。

2020年度のメインテーマ  
“笑顔はみんなの共通語”  
「働く人の夢を生涯支えるパートナー」

## 2020年度 小笠支店運営委員会

森田/当運営委員会は、15名16名のメンバーで取り組みを進めています。今、時代の流れはとも速く、それに合わせ運営委員会の取組みも変化させていかなければいけないと考えています。そのためにも運営委員一人ひとりが何事にも関心を持ち、気づきそれらを共有化しながら施策に反映させていくことが必要となります。課題は多くありますが、働く仲間のために試行錯誤を繰り返す、最後には会員も運営委員も労金職員も皆が笑顔になることを目指してまいります。

●運営委員会スローガン●  
“笑顔はみんなの共通語”  
～働く人の夢を生涯支えるパートナー～

## 専門委員会

鈴木/『若者・子育て世代委員会は、若年世代子育て世代が将来を見据え、ライフプランをしっかりと考えていくこと、資産形成を促していくことを目指し取り組んでいます。貯蓄奨励



清水/変化の一環として、2019年度より専門委員会を刷新しました。『若者・子育て世代委員会』、『シニア世代委員会』を立ち上げ、女性・若年層、高齢者層のニーズに対応していくための活動を行っています。これまで活動してきた専門委員会『普及委員会』『広報委員会』の経験も踏まえ、情報を周知しきれていない対象を明確にし、集中的にご案内していただけるよう取り組みを進めています。



森田/今年度も二つの委員会を中心に資料やチラシなどを作成してきました。年明けには作成した資料をもとに、小笠支店運営委員会アレゼンツとして各会員で実施するセミナーなどで積極的に使っていく予定です。小笠支店エリアの会員の皆さま、改めてご案内いたしますので、ご活用をお願いいたします。



どんぐりの会

清水/『シニア世代委員会』は退職準備世代と高齢者世代を対象に取組みを進めています。今は継続雇用が当たり前になりつつあり、これからも年金を貰いながら働く人達が多くなっています。そんな中、年金制度をより深く理解する必要があると考え、一つのツールとしてパワーポイント資料を作成しました。これからも更に有意義な活動としていくべく努めていきます。



専門委員会制作!!



## 運営委員会としての課題

森田/この間、運営委員の入れ替わりが多くあり、運営委員一人ひとりの理解を深めることや、各自組織での取組みも含め運営委員会全体の活動の底上げを課題としてきました。運営委員を引き継ぐ際に、後任へこれまでの活動や想いを

伝えていくためのツールとして『運営委員の手引き』も作成しました。運営委員長として自身の声で思いや心構えを伝えていけるよう、更なる工夫を凝らしていきたいと思っています。清水/合わせて、経験にかかわらず運営委員全員の考えを積極的に引き出し、意見を聞きたいと思っています。自ら声をあげること、(ろうきん)の施策に反映されたり、組合員の幸せに繋がったりと、実情として変化が見えてくると一層やりがいにも繋がってまいります。鈴木/私自身今年の10月から副運営委員長の任に就き、まだまだ学びの身です。だからこそ任期の浅い運営委員の気持ちも理解できます。森田運営委員長と清水副運営委員長の熱量を横で感じながら、皆がしっかりと理解し、主体的に取組みを進めていけるようフォローする役割も担っていきたくと思っています。白方/運営委員会の活動を定着させていくためにも、渉外係が中心となり職員と各運営委員との繋がりを更に強化していき、必要な情報をお伝えしながら一体となって盛り上げていきたいと思っています。引き続き、運営委員会・会員・(ろうきん)三位一体で頑張っていきたいと思います。

